

# 製造分野特定技能1号評価試験（日本国内実施）の流れ

令和3年7月14日（水）時点版

## 試験概要

### 試験詳細

試験区分は19区分に分かれています。  
試験は学科試験と、実技試験により構成されます。  
なお、溶接区分のみ、実技試験は製作等作業方式で実施します。

### 試験水準

技能検定3級試験程度を基準とします。

### サンプル問題

特定技能外国人材制度（製造3分野）ポータルサイトで、試験区分毎にサンプル問題を公開しています。  
[https://www.sswm.go.jp/exam\\_f/examination.html](https://www.sswm.go.jp/exam_f/examination.html)

### 受験回数

受験回数に制限はございません。  
ただし、試験に合格した際、「特定技能」の在留資格で日本国内において就業する意思がない方の受験はお控えください。  
また、学科試験と実技試験は1度の試験で両方とも合格が必要になります。過去どちらか一方が合格していても、合格した学科試験、もしくは実技試験の受験は免除されません。

## 受験申込み

### 日程発表

試験日程は、特定技能外国人材制度（製造3分野）ポータルサイトにて発表します。令和3年度の国内試験は3回（7～9月、11～12月、2～3月）ほど予定しています。  
詳細は決まり次第、[https://www.sswm.go.jp/exam\\_f/examination\\_index.html](https://www.sswm.go.jp/exam_f/examination_index.html)にて公表いたします。

### 受験申込み

特定技能外国人材制度（製造3分野）ポータルサイトの以下のページからよりお申し込みください。  
[https://www.sswm.go.jp/exam\\_f/examination\\_index.html#a01](https://www.sswm.go.jp/exam_f/examination_index.html#a01)  
※電話、郵送、メールでの受付はしておりません。  
また、試験の申込みは、受験者ご本人様以外でも受付しておりますが、団体受付はございません。

### 重複受験申込み

同一時期に行う試験において、同一受験者による、別会場・同一試験区分への申込みはお受けできません。

#### NG例 ①

東京：電気機器組立て-回転電機組立て区分を申込  
名古屋：電気機器組立て-回転電機組立て区分を申込

#### NG例 ②

東京：電気機器組立て-回転電機組立て区分を申込  
名古屋：電気機器組立て-開閉制御器具組立て区分を申込

#### OK

東京：電気機器組立て-回転電機組立て区分を申込  
名古屋：電子機器組立て-電子機器組立て区分を申込

万が一、同一時期に行う試験において、同一受験者による別会場・同一試験区分への申込みがあり支払いが完了された場合、ご返金はいたしかねますので、ご注意ください。

### 受験料の支払い

受験料の支払い方法は、クレジットカード、デビットカードのみとなります。インターネットバンキング含む銀行送金・振込、現金支払い等はお受けしておりません。団体一括支払いもお受けしていません。  
なお、支払いは受験者ご本人様名義ではなく、代理の方の支払いも可能です。

## 受験料の返金

原則、一度支払いが完了された受験料はご返金いたしかねます。

試験会場、試験区分等間違いがないようにご確認の上、お申し込みください。

なお、試験区分ごとに、各会場で定員を設けています。定員を超えるお申込みがあった場合、先着順（支払い完了順）での受付とさせていただきます。その際、受験料の支払いが完了した受付であっても、定員を超えてしまった受験者の受験料は、ご返金いたしません。

## 予約完了

受験料の支払いの確認後、申込み完了通知が申込み時にご登録されたメールアドレスに送られます。万が一、申込み完了通知が届かない場合は、相談窓口までお問い合わせください。

相談窓口についてはこちらを参照ください ▶ [https://www.sswm.go.jp/exam\\_f/contact.html](https://www.sswm.go.jp/exam_f/contact.html)

## 受験票発送

受験票の発送は、試験日約1週間前を目処に、ご登録のメールアドレスにEメールにてお送りします。

## 試験当日

### 持ち物

以下をご参照ください。なお、持ち物に関する詳細は受験票に記載されております。

#### 《全区分共通》

- ① 受験票
- ② 本人確認書類（顔写真のあるもの）  
原則、在留カード  
\*パスポート、運転免許証、社員証/学生証でも可。
- ③ 鉛筆 もしくは シャープペンシル、消しゴム
- ④ 時計
- ⑤ マスク
- ⑥ 新型コロナウイルス感染拡大防止チェックリスト



#### 《溶接のみ》

- ⑦ 作業服
- ⑧ 安全靴
- ⑨ 帽子またはヘルメット
- ⑩ 溶接用保護面
- ⑪ 溶接用皮手袋
- ⑫ 保護メガネ
- ⑬ 防塵マスク

※CBT（コンピューター・ベースド・テスト）方式での試験実施時、受験者はパソコンの持参は不要です（筆記用具はお持ちください）。

※本人確認書類等、持ち物に不足がある場合には受験をお断りすることもございますので、ご注意ください。

### 付添人

付添人は、試験会場外までは受験者と一緒にお越しいただけますが、試験会場内にはご入室いただけません。

## 試験後

### 合否判定

技能試験実施機関より、試験実施後3か月以内に受験者全員に結果通知をEメールでお送りします。

### 合格証明書

試験合格者と受入れ機関で雇用契約が結ばれることが決定した後、試験合格者または受入れ機関により、合格証明書発行の申請をしてください。申請者に合格証明書をお送りします。

なお、令和3年度中の合格証明書発行の手数料はかかりません。

《合格証明書に記載される事項》

- ①氏名
- ②生年月日
- ③性別
- ④国籍
- ⑤顔写真
- ⑥受験日
- ⑦受験地
- ⑧合格証明書の発行者
- ⑨試験区分等の基本情報が含まれます。

※合格証明書の有効期限は、合格発表日から10年間です。